

もっと身近に

# 男女共同参画

◎協働まちづくり課

外国人活躍・共生社会推進室

TEL44-3138

## みんなで目指そう！ジェンダー平等

4月といえば、ピカピカのランドセルを背負った1年生の姿が印象的です。かつては、「男の子は黒、女の子は赤」が定番でしたが、最近はその流れが変わってきているようです。

エスディー・ジェンズ

### SDGsランドセルの多様化

2015年、国連サミットでSDGs（持続可能な開発目標）が採択され、17の目標の1つに「ジェンダー平等（※）」を実現しよう」が掲げられました。要約すると、「男だから・女だから」と決めつけず、男女平等を目指そうというものです。そして、SDGsの浸透とともにランドセル業界にも変化が現れ、定番色に加えて紺・青・緑・茶・ラベンダー・ピンクなど、多様なランドセルが誕生しています。



### ジェンダーは身近なテーマにも

「男の子だから泣かないの」「女の子だからお手伝いして」などと言われた経験はありませんか？生物学的な性別に対して、このように社会の中で「男らしい・

女らしい」とされている役割や行動、考え方や見た目など、文化的・社会的につくられた性別がジェンダーです。無意識に刷り込まれていることもあるため、自分では気付きにくいケースもあります。例えば、共働きの夫婦の間で、知らぬ間に女性の家事負担が重くなっていること、ありませんか？また、自治会の会合は、男性が出るものと思いついていませんか？これもジェンダーによるものです。

### 思い込みや偏見に気付くことが大切

ジェンダー平等を実現するためには、「男性はこうあるべき・女性はこうあるべき」といった考え方を見直していくことが重要です。まずは、家庭や職場などで身近な方とジェンダーについて話し合い、自分の思い込みや偏見に気付くことがジェンダー平等への第一歩になるのではないのでしょうか。

※ジェンダー平等…家庭や職場、地域などあらゆる場面において、性別による偏見や不平等のない社会を目指していくこと。女性を取り巻く環境、解決すべき課題の背景にはジェンダーに基づいた偏見や不平等があるといわれています。